

■ 開口部の仕様別熱貫流率とY K K A Pの適合商品一覧
平成28年省エネルギー基準・非木造・・・玄関ドア（大部分がガラスで構成されない開口部）

当一覧表は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に基づいています。

枠と戸の仕様	ガラスの仕様	中空層の仕様		開口部の熱貫流率 W/(m ² ・K)		開口部の 日射熱取得率η	Y K K A P適合商品
		ガス注1)の封入	中空層の厚さ	付属 部材なし	風除室 あり		
枠：木製 戸：断熱積層構造の戸	三層複層ガラス	されていない	12mm以上	2.33	1.89	0.079	-
	Low-E複層ガラス	されていない	10mm以上	2.33	1.89	0.079	-
			6mm以上10mm未満	2.91	2.26	0.099	-
	複層ガラス	-	10mm以上	2.91	2.26	0.099	-
ガラスのないもの	-	-	2.33	1.89	0.079	-	
枠：金属製熱遮断構造 戸：高断熱フラッシュ構造の戸	Low-E複層ガラス	されている	12mm以上	1.75	1.49	0.060	-
	ガラスのないもの	-	-	1.75	1.49	0.060	-
枠：金属製熱遮断構造、木と金属との複合材料製又は樹脂と金属との複合材料製 戸：断熱フラッシュ構造の戸	Low-E複層ガラス	されていない	10mm以上	2.33	1.89	0.079	-
			6mm以上10mm未満	2.91	2.26	0.099	-
	複層ガラス	-	10mm以上	2.91	2.26	0.099	-
	ガラスのないもの	-	-	2.33	1.89	0.079	-
枠：金属製熱遮断構造 戸：フラッシュ構造の戸	Low-E複層ガラス	されていない	10mm以上	3.49	2.59	0.119	-
	複層ガラス	-	12mm以上	3.49	2.59	0.119	-
	ガラスのないもの	-	-	3.49	2.59	0.119	-
枠：指定しない 戸：木製の戸	複層ガラス	-	4mm以上	4.65	3.18	0.158	-
	ガラスのないもの	-	-	4.65	3.18	0.158	-
枠：指定しない 戸：フラッシュ構造の戸	複層ガラス	-	4mm以上	4.07	2.90	0.138	-
	ガラスのないもの	-	-	4.07	2.90	0.138	-EXIMA80St -R'sSDX
枠：指定しない 戸：ハニカム フラッシュ構造の戸	複層ガラス	-	4mm以上	4.65	3.18	0.158	-
	ガラスのないもの	-	-	4.65	3.18	0.158	-EXIMA80St -R'sSDX -SARGE

【ドアの仕様について】

- 「Low-E複層」とは、2枚の板ガラスと1つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう。低放射複層ガラスともいう。
- 「Low-E三層複層」とは、3枚の板ガラス（仕切り部材を含む。）と2つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう（ただし、同一中空層に複数のLow-E膜が面するものを除く。）。低放射三層ガラスともいう。
- 「三層ガラス」とは、3枚の板ガラス（仕切り部材を含む。）により構成されるガラスであって、当該ガラスの間に2つの中空層を有するものである。トリプルガラスともいう。
- 「断熱積層構造の戸」とは、木製表裏面材の間に断熱材を密実に充填した構造の戸をいう。
- 「高断熱フラッシュ構造の戸」とは、金属製表裏面材の間に断熱材を密実に充填し、辺縁部を熱遮断構造とした戸のうち、戸の厚さ60ミリメートル以上のものをいう。
- 「断熱フラッシュ構造の戸」とは、金属製表裏面材の間に断熱材を密実に充填し、辺縁部を熱遮断構造とした戸をいう。
- 「フラッシュ構造の戸」とは、金属製表裏面材の間に断熱材を充填した構造の戸をいう。
- 「ハニカムフラッシュ構造の戸」とは、金属製表裏面材の間の密閉空気層を紙製又は水酸化アルミニウム製の仕切り材で細分化した構造の戸をいう。

これらの対象製品性能一覧は、一般社団法人住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録予定です。
上表中の商品は、構造、形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分はすべて「-」となります。